



XR250/Motard カムシャフト 取扱説明書

商品番号 : 01-08-0051
 適応車種 : XR250/Motard・XR250BAJA
 フレーム番号 : MD30-1500001~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

特 徴

- ・ノーマルや、当社製ハイコンピストン、ボアアップに最適なカムシャフト。主に高回転域をパワーアップさせる特性をもっています。
- ・当社製品との相性も良く、更なるパワーアップが望めます。

ご使用前に必ずお読み下さい

- ・取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ・この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ・商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ・他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ・この製品は、上記適合車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ・取り付け際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。また、カムスプロケットフランジはノーマルを再使用します。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。尚、カムスプロケットフランジの取り外し、取り付けには油圧プレス等が必要です。
- ・バルブリフト量がノーマルに比べ、増えております。また、カムの独得な形状から作動音は増加します。
- ・デコンプ機構の取り付けは出来ません。
- ・カム部がシリンダーヘッドやシリンダーヘッドカバーに干渉する恐れがあります。取り付け使用前に必ず干渉を確認し、干渉がある場合は逃げ加工を行って下さい。
- ・ベアリング、カムスプロケットフランジ、ボルト、ナット、ノックピン、パッキン等は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物の損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
- ・ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

～ 商 品 内 容 ～



番号	部 品 名	個数
1	カムシャフト	1

～取 付 け 要 領～

この取り付け要領は完全ではなく、作業的には足りない部分もあるので必ずホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うこと。取り付け際にはレーシングスタンド等を用いて水平で安全な場所で車両を確実に支える。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行うこと。

各部品の取り外し

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、以下の部品、接続等を取り外す。

- ・シート
- ・フューエルタンク / フューエルホース
- ・スパークプラグキャップ / スパークプラグ
- ・シリンダーヘッドカバーブリーザーチューブ
- ・シリンダーヘッドカバーをマウントしているハンガープレート

カムシャフトの取り外し

タペットホールキャップ、タイミングホールキャップ、クランクシャフトホールキャップを取り外し、フライホイールを反時計方向に回して圧縮上死点にする。

シリンダーヘッドカバーボルトを対角に数回に分けてゆるめ、取り外す。シリンダーヘッドカバーを取り外す。

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、カムチェーンテンショナーをロックさせる。

フライホイールを保持し、カムスプロケットボルトを取り外す。

ボルトをクランクケース内に落とさないように注意。

カムシャフトをカムスプロケットからずらし、取り外す。カムスプロケットをカムチェーンから取り外す。

カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で引っ掛けておく。

シリンダーヘッドのプランジャー / スプリングは使用しないので取り外しておく。

カムスプロケットフランジの取り付け

カムスプロケットフランジはノーマルを再使用する。油圧プレス等を用いてノーマルカムシャフトからカムスプロケットフランジを取り外し、キットのカムシャフトに取り付ける。

この時、スプライン溝の欠け部を合わせ、取り付け。

取り外し・取り付けの際にはフランジを破損させないために、絶対にカムスプロケット取り付け部に力を加えないこと。

ノーマルのベアリングをキットのカムシャフトに取り付ける。

カムシャフトの取り付け

シリンダーヘッドにセットピンが付いているか確認する。

フライホイールの“T”マークがクランクケースカバーの合わせマークに合っているか確認し、カムスプロケットのケガキ線がシリンダーヘッドカバー合わせ面に合うようにカムチェーンに取り付け、カムシャフトをカムスプロケットに挿し込む。

この時、カムチェーンがクランクシャフトのタイミングスプロケットからはずれていないか注意する。

カムシャフトはカム山を燃焼室側に向けて取り付け。

カムスプロケットボルトを取り付け、規定トルクで締め付ける。

規定トルク 20 N・m (2.0 kg f・m)

フライホイールを反時計方向に回し、フライホイールとカムスプロケットのタイミングが合っているか確認する。

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、カムチェーンテンショナーのロックを解除する。

カムシャフトのカム面が浸かるまで、シリンダーヘッドのオイル溜まりにエンジンオイルを注入する。

シリンダーヘッドにノックピン2個、ガスケットが付いているか確認し、シリンダーヘッドカバーをシリンダーヘッドに取り付ける。ヘッドカバーボルトを仮止めし、ヘッドカバーボルト8mmから先に締め付け、後にヘッドカバーボルト6mmを対角に数回に分けて締め付ける。

規定トルク ヘッドカバーボルト8mm
: 24 N・m (2.4 kg f・m)

ヘッドカバーボルト6mm
: 12 N・m (1.2 kg f・m)

バルブクリアランスの調整

圧縮上死点にし、バルブクリアランスを規定値に調整する。アジャストスクリューを保持し、ロックナットを締め付ける。

規定クリアランス IN側 : 0.10 ± 0.02 mm

EX側 : 0.12 ± 0.02 mm

規定トルク ロックナットIN側 : 24 N・m (2.4 kg f・m)

ロックナットEX側 : 26 N・m (2.6 kg f・m)

タイミングホールキャップ、クランクシャフトホールキャップ、タペットホールキャップを取り付ける。

規定トルク タイミングホールキャップ

: 10 N・m (1.0 kg f・m)

クランクシャフトホールキャップ

: 8 N・m (0.8 kg f・m)

タペットホールキャップ

: 15 N・m (1.5 kg f・m)

各部品の取り付け

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、取り外した部品の取り付け、接続を行う。

エンジン始動

各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認する。

エンジンオイルが規定量入っているか確認する。

風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し、暖気運転する。

エンジンからの異音、各ガスケット部からのオイルもれ等が無い点検する。

エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検する。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>